

木

医療機器センターのご案内

医療機器の 認証	企業関係者向け 講習会・試験	医療従事者向け 講習会・試験	臨床工学技士 国家試験	承認速報 情報サービス 【JAAME Search】	医療機器センタ ー のご案内
-------------	-------------------	-------------------	----------------	----------------------------------	----------------------

医療機器センター トップ 医療機器産業研究所 調査・研究・助成
2026年度 調査研究助成【公募型リサーチペーパー】募集のご案内

MDSI 医療機器産業研究所
Medical Device Strategy Institute

2026年度 調査研究助成 【公募型リサーチペーパー】募集のご案内

<相談対応期間> ~4月6日(月) 正午まで随時受付
<公募期間> 4月6日(月)正午~5月7日(木)正午まで

医療機器産業研究所は、医療機器産業を取り巻く環境及び中長期的な課題について調査分析を行い、その成果をリサーチペーパーなどにまとめてきました。それらの活動を通して、新しい製品の持続的導入と医療費抑制という二つの社会的要請を踏まえた中においても産業振興をさらに加速することが重要と考えています。

そこで、大学・研究機関の研究者からも社会科学系研究の手法による医療機器産業を活性化させるための提言及び社会科学系研究者の育成を通じた裾野の拡大が必須であると考え、2017年より研究助成制度として「公募型リサーチペーパー」の募集を開始しました。

2024年度には、医療機器産業の未来を切り拓く社会科学的研究を推進するため、従来からの調査研究助成制度に「次世代産業戦略枠」を新設する取り組みを行ったところでございます。

また、2025年度より、研究内容に応じたより柔軟な支援を実現するため、研究助成金額を50万円から100万円の範囲内で提案内容に応じて設定できる仕組みに変更いたしました。この改訂により、研究者の皆様の多様なニーズに対応し、各研究プロジェクトに最適を提供することを目指します。

さらに、公募期間に先立ち、『相談対応期間』を2025年度より導入しております。研究計画立案の段階から、当該助成制度への対象の可否等のご相談いただけます。

また、本助成事業への応募をきっかけに、医療機器をテーマとした研究をご検討される方には、研究内容に応じた医療機器に関する情報提供を行います。

ご希望される方は、本ページ下部に記載の事務局宛にお気軽にご連絡ください。

当財団は、絶えず変化する社会環境を洞察し、未来をデザインする若手研究者を支援し、医療およびヘルスケアの持続的な発展に貢献します。

皆様からのご応募をお待ちしております。

2024.3.15. プレスリリースは[こちら](#)

2024.3.15. これまでに取りまとめたリサーチペーパーの一覧は[こちら](#)

公募要領 (pdf版は[こちら](#))

1. [助成の趣旨](#)
2. [助成のテーマ](#)
3. [応募対象者](#)
4. [助成金額](#)
5. [助成金使途](#)
6. [助成期間](#)
7. [応募方法](#) ← [指定書式のダウンロードはこちら](#)
8. [選考時期および方法](#)
9. [助成金の交付](#)
10. [採択後の流れと助成に対する成果物](#)
11. [これまでの採択テーマ](#)
12. [個人情報・応募書類の取扱について](#)

13. その他

14. 連絡先

1. 助成の趣旨

医療機器の研究開発のあり方や医療機器産業界のあり方を念頭に、医療機器産業を取り巻く環境、短期的あるいは中長期的な課題について分析検討し、提言につながり得る社会科学系研究を幅広く募集します。

当財団及び医療機器産業研究所(以下、医療機器産業研究所)は、本調査研究助成の公募を通して、医療機器産業を研究対象とする社会科学系研究者の育成を目指しています。

当該助成にて目指している育成の方向性

- 社会科学の視点を持てる、医療機器に携わる研究者・医療従事者の育成
- 医療技術を理解できる、社会科学系研究者の育成

2. 助成のテーマ

医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レギュラトリーサイエンス、医療経済評価、歴史学、政治学等の幅広い社会科学系研究テーマ※を幅広く募集します。

調査や分析、実証研究、ケーススタディ等を元に一般化した議論をするような研究を想定しています。既成の概念にとらわれない、新しい発想に基づくテーマについても歓迎します。これまでに実施した研究テーマの例を以下に示します。

※医療機器の研究開発・試作、実験、臨床研究等は対象ではありません。また、研究計画に関連のない海外渡航費や出張費のみの提案は対象ではありません(留学費用も対象外)。

医療機器のイノベーション促進や医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レギュラトリーサイエンス、医療経済評価、歴史学、政治学等の幅広い社会科学系研究テーマ。

また、医療機器産業の次なる世代の将来像を論理的かつ挑戦的に論ずるテーマ。例えば、新しい科学技術の到来、地政学の洞察、および将来の特定の年に関連する問題(20XX年問題)等を踏まえたテーマなどで、既存の枠組みにとらわれずに次世代の政策立案の議論に資する内容であること。

これまでに採択された研究テーマについては、[こちら](#)をご覧ください。

3. 応募対象者

大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者、大学院生、学部学生の方が対象です。個人を基本としますが、個人では研究の遂行が難しい場合（例えば、複数の学術領域をカバーする場合や海外との比較を行うような場合、膨大な量の調査を行う場合など）は、主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申請も可能です。申請者の国籍は問いませんが、下記に示す報告書を作成するために日本語による会話および読み書きの十分な能力を有することが条件となります。また助成金の取扱上、日本国内に居住している方を対象とします。

なお、若手研究者の方の積極的応募を期待します。学部・修士課程の学生の方が応募する場合は、責任を持って研究指導して頂ける方との連名でグループとして申請して下さい。また研究終了時に学生等の立場が保証されていることが必要です。例えば学部卒業後の大学院への進学や修士・博士課程修了後にアカデミックポジションへの就職や研究生等のポジションが保証されていない場合は、卒業・修了までに完成する研究計画として下さい。企業等からの給与所得を得ている、いわゆる「社会人学生」については事前にご相談下さい。

4. 助成金額

助成金は、直接経費と間接経費から構成されます。

(1) 直接研究費

概ね50万円程度。上限は100万円以内。

(研究計画に応じて、この範囲で自由に設定して頂けます。)

(2) 間接研究費

所属機関にて間接経費が必要な場合には別途直接経費の20%を上限として計上できません。

5. 助成金使途

○ 対象となるもの

応募テーマに関する研究に係る費用。備品費、消耗品費、通信費、旅費、宿泊費、学会参加費、コピー代、等。研究遂行上必須となる設備等の一時的な賃借料(スーパーコンピュータやクラウドコンピュータの使用料、レンタカー代、データベース使用料等)。聞き取り調査における謝礼金。

○ 対象とならないもの

申請者・申請グループの人件費、研究室の賃借料や水光熱費、机・ロッカーといった什器類等、飲食費(学会参加費等に含まれるものを除く)。その他、応募テーマに関する研究に直接関係しない費用。

支出基準は基本的に所属機関のルールに従います。また、全額が調査研究助成となり、いわゆる一般管理費・事務処理費等は含みませんのでご留意下さい。
研究内容の全て、あるいは一部の再委託はできません。

6. 助成期間

決定後、3か月～1年間(研究計画に応じて、この範囲で自由に設定して頂けます。)
※研究の内容によっては、事前協議の上、弾力的に対応することもあります。

7. 応募方法

応募は電子申請となります。下記書類を作成し、電子申請システムより申請(PDF形式)を行ってください。

[\(申請様式一式\)所属機関_氏名 \(Word\)](#)

[\(様式3作成用エクセルファイル\)研究費使用計画書](#)

電子申請システム(Graain)を初めてご利用される方は、アカウントの初期登録をお願いします。

所定用紙(Word・Excel)への入力後、PDF形式に変換し、提出する書類を全て統合の上で提出してください。

PDFにはパスワードやセキュリティ設定を行わないでください。

ファイル名は「所属機関_氏名」として下さい。

例) 医療機器センター_医療花子.pdf

応募・申請履歴の確認はこちらから

電子申請システム

(Graain: 外部のウェブサイトへ移動)

申請画面の操作方法については[Graain申請者操作マニュアル](#)をご覧ください。

申請者操作マニュアルは、Graainマイページへのログイン後、画面左下にある「?お困りの時はこちら」アイコンからもご確認いただけます。

申請書類のWordファイルには以下(様式1)～(様式4)の書式が全て入っております。

各種様式について、以下の記載方法に従って作成して下さい。

(申請書類様式)

1. 履歴書・研究概要書(様式1)(A4サイズ、2ページ、指定書式)

1ページ目が履歴書、2ページ目が研究概要書となっています。グループ・連名での申請の場合、履歴書は全員分、研究概要書は1部のみ提出して下さい。

2. 研究計画書(様式2)(A4サイズ、8ページ以内、サンプル書式あり)

研究全体の計画や調査手順・方法、タイムスケジュール等を記載して下さい。

3. 研究費使用計画書（様式3）（A4サイズ、1ページ、指定書式）
直接経費の使途の予定を研究計画と対応する形で記載して下さい。
4. 同意書（様式4）（A4サイズ、1人あたり1ページ、必要な場合のみ）
グループ申請の場合などに提出して下さい。

（申請状況の確認について）

申請状況の確認は、電子申請システム（Graain）のマイページ、または申請時および申請完了時におけるGraainからの配信メールよりご確認いただけます。

Graain自動配信メールの詳細：

1. 申請受付（進捗状況：確認中）
Graainマイページにて申請書類をアップロード後、申請ボタンを押すと「申請を受け付けました」と画面に表示され、同時にご登録のメールアドレス宛へ申請受付（確認中）のメールがGraainから自動配信で届きます。
※こちらは申請が事務局に届いたことを知らせるご連絡となり、申請完了のメールではありません。
2. 申請完了（進捗状況：受領/差戻/不採用）
申請が完了すると、申請の進捗状況をGraainよりメールにてご連絡いたします。
メール文中にて申請の進捗状況が確認できます。
申請の進捗状況の他に事務局から連絡事項がある場合には、Graainマイページよりご確認ください。

<進捗状況の具体的な内容>

受領：必要な申請書類が全て揃い、受付が完了した場合

差戻：申請書類に修正事項がある場合

不採用：助成対象外の分野によるテーマ、応募対象者に該当しない者による申請など、申請の対象外となる場合

※申請状況の確認に関する詳細については、申請者用Graainマニュアルの「2.助成申請」をご確認ください。

8. 選考時期および方法

2026年度募集は下記の通りとなります。

期	相談対応期間	募集期間 (必着)	選考および 採択結果通知	研究期間 (1年間の例)
第2 4期	2026年3 月9日 ～ 2026年4 月6日正 午	2026年4月 6日正午 ～ 2026年5月 7日正午	2026年6月末 日までに 申請者に直 接通知	2026年 7月 ～ 2027年 6月末

※ なお、公募期間中であっても、ご不明点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

【2026年度医療技術研究開発助成における採択予定件数】

おおむね6件程度（助成額により採択件数は変動する場合があります）

ただし、採択するに十分な内容の申請がない場合は採択を行わないこともあります。選考のプロセスについては、医療機器産業研究所に一任して頂きます。外部委員で構成される選考委員会で応募書類を審査した上で、採択の可否を決定します。選考結果は選考委員会開催後、ただちに申請者に直接お知らせします。採択された申請については、研究テーマ、採択者名と共に医療機器産業研究所のウェブサイトで公開します。

不採択の場合でも、選考の内容および不採択の理由については公開できません。

(選考委員会委員)

- 慶應義塾大学経済学部教授 川本明
- 順天堂大学大学院医学研究科臨床薬理学教授 佐瀬一洋
- 国立循環器病研究センター名誉所員 妙中義之 ※委員長
- 一般社団法人日本医療機器産業連合会 医療機器政策調査研究所 所長 久芳明
- 城西国際大学薬学部医療薬学科 教授 小林江梨子

9. 助成金の交付

選考委員会にて採択が決定した後に、寄附として所属機関の指定口座に助成金を振り込みます。管理は所属機関による機関管理を基本とします。

大学院生個人による申請の場合、機関管理ができない場合がありますので、所属機関の担当部署に事前にご確認下さい。所属機関による機関管理ができない場合でも、選考において不利益になることはありませんが、採択された場合、当財団において研究

理を行うため、採択後に研究開始までの時間が長くなったり、研究費を使用する際に若干の不便が生じたりする場合があります。

10. 採択後の流れと助成に対する成果物

採択者には、申請したテーマに従って研究をして頂き、研究期間終了時までA4サイズで、40～80ページ程度(図表含む)で「リサーチペーパー※」として報告書をまとめて頂きます。具体的な報告書の形式・まとめ方については採択者と医療機器産業研究所の間で相談しながら、2人3脚で完成を目指します。

採択者が希望する場合は、製本後のリサーチペーパーを、50冊を上限として贈呈します。

リサーチペーパーの著作権は当財団に帰属しますが、研究期間中や研究期間終了後に、リサーチペーパーに関連した内容での研究発表や論文投稿を妨げるものではなく、それに際して学会や出版社にリサーチペーパーにおける当該箇所の著作権譲渡を行う必要がある場合には、それを妨げるものでもありません。積極的な研究発表や論文投稿を期待します。また、発表に際しては可能な限り医療機器産業研究所の助成による旨を記載して頂くと共に論文や要旨等の別刷り(コピーや電子ファイルも可)を後日提出して下さい。なお、優れた研究成果については医療機器産業研究所の主催する研究会等にて発表して頂く場合があります。

※リサーチペーパーは公益財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所の刊行物で、医療機器産業に係る行政機関、医療機器関連の業界団体、医療機器産業研究所の研究協力制度に参加している会員企業に配布する出版物です。リサーチペーパーは一般向けに発行・流通する媒体ではありません。

※いわゆる「二重投稿」への該当については、研究発表先の学会や論文投稿先の編集者・出版社にご相談下さい。

11. これまでの採択テーマ

これまでの採択テーマは[こちらのページ](#)をご覧ください。

12. 個人情報・応募書類の取扱について

お預かりした個人情報については、目的の範囲内でのみ利用します。不採択になった場合にも、応募書類は返却致しません。

13. その他

研究の遂行上必要と認められる場合は、公益財団法人医療機器センターの提供する医療機器に関するデータベースJAAME Searchの1年間の無料ライセンスを提供します。

14. 連絡先

本調査研究助成の応募に際して、疑問点等がありましたら、下記連絡先にお気軽にお問い合わせ下さい。

まだアイデア段階の研究テーマであっても、お気軽にご相談下さい。

公益財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所

調査研究助成事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-34 本郷MKビル 2階

e-mail:mdsi@jaame.or.jp

電話 03-3813-8553

TOP

医療機器の承認速報

医療機器の認証

医薬品医療機器等法による登録認証機関

初めての認証申請

認証申請の手続き

認証費用のお見積

無料面談のご案内

認証制度とは

参考情報

企業関係者向け講習会・試験

【資格取得】販売、修理、製造、総括製造販売に係る

講習会

JAAME Academy

その他講習会

修了証再発行

継続的研修実施機関一覧

医療従事者向け講習会・試験

医療機器安全基礎（ME技術）講習会

在宅人工呼吸器に関する講習会

医療ガス安全管理者講習会

3学会合同呼吸療法認定士

透析技術認定士

臨床工学技士国家試験

厚生労働大臣の指定試験機関

臨床工学技士国家試験のご案内

受験資格／試験科目

出題基準について

学校・養成所一覧

臨床工学技士・免許について

過去の試験問題等

承認速報・

情報サービス【JAAME Search】

JAAME情報提供のご案内

医療機器の承認速報

[無料トライアルのご案内・申込み](#)

医療機器センターのご案内

[センターご案内](#) [理事長あいさつ](#)
[公的研究費の適切な執行について](#)
[医療機器とは](#) [年間予定表](#)
[公開情報](#) [採用情報](#)

医療機器産業研究所 調査研究・事業化支援

[事業化支援](#) [調査・研究・助成](#)
[研究会・勉強会等](#)
[医療機器産業研究所について](#)
[研究員紹介](#)
[研究協力制度のご案内（入会のご案内）](#)

© 公益財団法人医療機器センター All Rights Reserved.

[プライバシーポリシー](#)・[著作権](#)・[サイトポリシー](#)